

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔15〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム谷中				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 557, 487, 339円, 歳出2, 553, 884, 652円, 収支差額3, 602, 687円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区谷中 2-17-20					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 2,794.36㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 倉庫、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、静養室、ボランティア室、談話室など					
(6) 人員体制	30名 内訳…施設長（1）、事務員（1）、相談員（2）、介護職員（常勤20、非常勤1）、看護職員（4）、栄養士（1）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄援助、入浴援助）、季節行事等）地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金	67,457,000	61,309,000	51,437,000	35,859,000	58,610,000
	料金収入等	228,383,000	224,867,000	233,957,000	231,780,000	238,372,000
	管理経費	295,840,000	286,176,000	285,394,000	267,639,000	296,982,000
決算	負担金	43,843,047	43,843,047	36,502,840	35,859,000	58,610,000
	料金収入等	239,848,186	234,246,845	252,773,473	249,934,024	238,679,062
	管理経費	276,507,439	268,131,891	262,505,070	265,867,207	286,884,032
	収支	7,183,794	9,958,001	26,771,243	19,925,817	10,405,030
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
入所定員（ショートステイ含む）		人	56	56	56	56
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値 (23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率（特養＋ショート）		%	98.0	96.2	97.6	97.7
利用者数（特養＋ショート）		人	20,100	19,710	19,956	19,977

## 7. 前年度からの取組

収支改善に向けて料金収入の増収及び経費節減に取り組んでおり、利用率は高い水準で維持している。今後も引き続き経費の節減に向けた取組みを進めていく。

**8. 評価項目** 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [-]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [3]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [3]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [2]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [3]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [3]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [2]	
	(b) 経費縮減のための取組み [2]			

**9. 評価**  
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。有資格者の配置は基準を上回っており、入居者の個性や希望を重視した寄り添いケアの推進や嚙下困難な入居者に対してソフト食、なめらか食を取り入れるなど、サービスの向上に努めている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	S	満足度調査を実施するだけでなく、年3回の家族懇談会を開き直接要望を伺う機会を設けるなど、利用者及びご家族の声をサービスの向上につなげるよう努めている。また、町会や小中学校・幼稚園等との交流が積極的に図られている。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。今後も利用料金収入を増額する工夫や収支の更なる改善に取り組んでいく必要がある。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

**良好**

職員配置基準を上回る有資格者を配置し、また寄り添いケアの推進や嚙下困難な入居者に対するソフト食の導入など、利用者本位のサービスの充実が図られており、高い利用率を維持している。

## 11. 評価結果への対応

満足度調査における利用者からの満足度は概ね高く、家族懇談会でのご意見なども含め、サービス向上に向けた様々な取組みを実施している。施設の管理運給については、全体的に適切に実施されている。今後も利用者から高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、運営経費の縮減を図りながら、料金収入の増収に努め、収支の改善を図っていく必要がある。